

## ～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

昨年から一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。今年は、そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

### ヤマドリ



下見(13日)の時にヤマドリの羽を拾いました。昨年は、縄張り争うをしている雄ヤマドリ2羽も見かけました。我々が見ていないだけで、まだまだ沢山の種が生息しているようです。次は何に出会うか？(悦)

### オオムラサキ

植生調査の帰りに、いつものエゾエノキに寄ってみました。「います、います！」葉陰に、1頭、2頭。元気でいてくれれば安心です。また、来月、会いに来ます。(悦)



### ツリバナ→ガイドブック P82

良く見ると実には5裂する筋が入っています。中の実が熟して5裂し、朱色の実がぶら下がるのが楽しみです。(悦)



## 今月の月例観察会

今月の月例観察会は、植生調査研修会としました。森の遷移を実体験する機会として市民の森の伐採跡地の遷移の調査を開始するために、その手法である植生調査の意義、技術の理解、演習を行いました。

午前中の座学では、「森のどんなことをしらべるのか」「森の様子を調べる方法とは」と分かりやすいアプローチで、お持ちいただいた資料、道具を囲み、和気あいあい活発な座学でした。



午後には、市民の森に移動し、昨年の間伐地に設置した演習用3区域(5m×5m)を3班に分かれて同じ基準で調査演習を行いました。

この演習で、こんな小さな区画でも、結構、体力、知力が必要であることを実感しました。

講師から植生調査に決まった方法はなく、長く続けるためには、自分たちの目的、技量、体力に合った調査方法を設定して実施すればよいというアドバイスがありました。

これから、この研修会の実績を生かし、本格始動に向かって、調査方法を確立し、区画の選定を行います。



### 名物ウダイカンバの胸高直径 69.5cm

調査区画へ移動する途中、中央コース入口にあるウダイカンバの胸高直径を測ってみました。ありました。使ったメジャーは裏面のメモリを読み取れば直径がすぐに分かる優れたもの。

胸高直径とは樹木の根元から1.3mの位置の直径です。



### 《感想》

一見、木など生えてなさそうなロフトを見て、何を調査するのだろうか？？と思いつつ皆で探したら、実生の幼木、ひこばえが続々。「なにもない」ように見えた5メートル四方の地面になんと30本もあったのは驚きでした。このうち、どれだけが無事に育つのか、できれば定点観察したほうが面白いのですが、残念ながらあまりにちいさな幼木で番号をつけられなかったので継続調査はちょっと難しいかもしれませんね。

我が家の周りでも調査してみたいものの、労力を思うとためらいます。(mittty)

サワフタギ→ガイドブック P74



e

アオハダ→ガイドブック P129



e

ガマズミ→ガイドブック P83



e

オトコヨウゾメ  
→ガイドブック P76



e

ツルウメモドキ  
→ガイドブック P139



e

今年は色とりどりの  
実がたわわに実りま  
したよ！

キバナノマツバニンジン  
初お目見え。



e

ツクバトリカブト→ガイドブックP113



e

決め手の葉の形



e

葉の形の異なる別の種のトリカブト  
もありそうです。



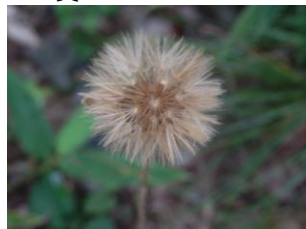
e

秋

(9月)  
頂上広場

センボンヤリ→ガイドブック P111

実



e

閉鎖花



アケボノソウ  
→ガイドブックP111



e

ミドリヒメザゼンソウ 実  
来年熟すそうです。



e

ヒメナミキ(姫波来)

初お目見えです！



e